

事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、回復基調を維持し、デフレ脱却に向けた大きな転換点になりました。一方、経済政策に対するグローバルな不確実性は依然として高い状態にあり、経済環境は見通し難しい状況です。

こうした状況の下、当社が指定管理者業務を担うグループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）の来館者数は、各種イベントの開催等により、2 期連続で 50 万人を突破しました。

指定管理者業務に於いては、指定管理料の増加により増収となりましたが、受託事業に於いて、高蔵寺駅周辺事業の業務受託料の大幅な減少等により、全体では減収減益となりました。

中古住宅流通促進事業では、空き家ストックの賃貸化事業を実施し、エリアマネジメント事業においては、高蔵寺駅南口の公有地活用事業や訪問医療・訪問介護事業者向けのシェアパーキング事業等に取り組んでまいりました。又、自主事業では、駐車場賃貸事業を新規事業として開始しております。

以上の結果、当期の売上高は 210,033 千円（対前期比 17,777 千円減）、売上総利益は 142,830 千円（同 4,690 千円減）、営業利益は 8,857 千円（同 6,099 千円減）、経常利益は 9,254 千円（同 5,742 千円減）、当期純利益は 6,725 千円（同 2,381 千円減）となりました。

(2) 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は 7,460 千円であります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当期もグループふじとう等の指定管理者業務に加え、積極的に新規事業などにも取り組み、収益を計上することができました。次期以降は、エリアマネジメント事業と自主事業の充実、拡大を図る事でまちづくり会社としての存在価値を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	第5期 (R3. 4～R4. 3)	第6期 (R4. 4～R5. 3)	第7期 (R5. 4～R6. 3)	第8期 (R6. 4～R7. 3)
売 上 高 (千円)	215,137	242,975	227,810	210,033
経 常 利 益 (千円)	6,100	8,831	14,996	9,254
当期純利益 (千円)	5,762	6,348	9,106	6,725
1株当たり 当期純利益	14,405円29銭	15,871円03銭	22,766円21銭	16,814円10銭
総 資 産 (千円)	99,249	97,861	115,298	114,846
純 資 産 (千円)	48,657	55,006	64,112	70,838

(6) 主要な事業内容

- ① 指定管理者事業
- ② 住宅流通促進事業
- ③ 受託事業
- ④ エリアマネジメント事業
- ⑤ 自主事業

(7) 従業員の状況

従 業 員 数	前期末比増減
9 名	-1 名

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。

(8) 主要な借入先

借入先名	借入金期末残高
株式会社大垣共立銀行	10,175 千円

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 8,000 株

(2) 発行済株式の総数 400 株

(3) 当事業年度末の株主数 10 名

(4) 主な株主の状況

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
春 日 井 市	株 201	% 50.2
春 日 井 商 工 会 議 所	89	22.2
株 式 会 社 大 垣 共 立 銀 行	20	5.0
その他 90 株		

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の状況

氏 名	地 位	重要な兼職の状況
加 藤 達 也	代表取締役社長	春日井市 副市長
前 川 広	常 務 取 締 役	
高 柳 通	取 締 役	春日井商工会議所 副会頭
小 野 沢 透	取 締 役	株式会社URリンケージ 顧問
山 田 誠	監 査 役	株式会社大垣共立銀行 常務執行役員

貸借対照表

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流 動 資 産	84,406	流 動 負 債	34,428
現金及び預金	82,679	買 掛 金	8,838
売 掛 金	241	短期借入金	1,381
仕 掛 品	268	未 払 費 用	12,044
前払費用	141	未払法人税等	91
立 替 金	24	未払消費税等	2,395
未 収 入 金	1,051	賞与引当金	6,413
		前 受 金	1,968
		預 り 金	1,294
固 定 資 産	30,439		
有形固定資産	30,329	固 定 負 債	9,580
建 物	658	長期借入金	8,794
建物附属設備	661	預り保証金	786
構 築 物	8,816		
車両運搬具	457	負 債 合 計	44,008
工具器具備品	3,240		
土 地	16,495	【純資産の部】	
投資その他の資産	110	資 本 金	20,000
長期前払費用	110	利 益 剰 余 金	50,838
		繰越利益剰余金	50,838
		株 主 資 本 合 計	70,838
		純 資 産 合 計	70,838
資 産 合 計	114,846	負債・純資産合計	114,846

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		210,033
売 上 原 価		67,203
売上総利益		142,830
販売費及び一般管理費		133,972
営 業 利 益		8,857
営業外収益		
受 取 利 息	45	
雑 収 入	523	569
営業外費用		
支 払 利 息	173	173
経 常 利 益		9,254
特別損失		
固定資産除却損	537	537
税引前当期純利益		8,716
法人税、住民税及び事業税		1,991
当 期 純 利 益		6,725

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合 計	
		その他利益 剰 余 金	利 益 剰余金 合 計		
		繰越利 益 剰 余 金			
当 期 首 残 高	20, 000	44, 112	44, 112	64, 112	64, 112
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益		6, 725	6, 725	6, 725	6, 725
当期変動額合計		6, 725	6, 725	6, 725	6, 725
当 期 末 残 高	20, 000	50, 838	50, 838	70, 838	70, 838

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 400 株

監 査 報 告 書

第8期事業年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年5月20日

高蔵寺まちづくり株式会社

監 査 役 山 田 誠 ㊞

以 上